

三方よしの精神で社会貢献 「循環型社会」実現の一助に

相原 金属リサイクル業を手がけているのですが、以前は畑違いの世界で活躍されていたとか。

古川 もともとアパレル業界にいたのですが、兄がこの業界にいることから金属リサイクル業に携わるようになりました。兄の立ち上げた(株)協同商店で働きはじめ、集荷力の強化を目的として本庄・児玉事業所を開設したのが2008年のこと。その5年後に、(株)サイキョウメタルとして本社協力のもと独立しました。

相原 それと、インパクトのある“サイキョウメタル”という社名について聞かないわけにはいきません(笑)。

古川 “埼玉”の“協同商店”という意味に加え、文字通り業界のなかで“サイキョウ”の会社にしたいという想いを込めました。社名に恥じぬよう、お客様に支持される会社にしていきたいと考えています。

相原 サイキョウの組織を目指しているのですね。実際、どのような取り組みを？

古川 非鉄金属原料再生事業として、金属類であれば何でも扱います。再利用可能な金属を収集・分別・加工・再提供するという流れが弊社の大まかな事業内容です。廃棄するしかないようなものに価値を見出すというところに、仕事の面白みを感じますね。

SVK METAL 株式会社 サイキョウメタル

〒369-0307
埼玉県児玉郡上里町大字嘉美 1082
TEL 0495-34-2803 / FAX 0495-34-2804

Company data

代表取締役

古川 勉

新潟県出身。卒業後はアパレル業界に約30年携わる。その後、次兄と三兄の立ち上げた(株)協同商店に入り、埼玉県の新規開設の事業所を任される。2013年10月、(株)サイキョウメタルとして独立。



相原 リサイクル全盛の時代、御社の果たす役割は重要ですね。



古川 同業他社も多いなかで、大切にしているのは「スピード」「サービス & スマイル」「セーフティ」の3S。スピーディかつ正確に安全第一を心がけながら、お客様に満足して頂くことを最優先に考えています。また、効率的な運搬を通じ二酸化炭素排出量を減らすなど、環境への負担を軽減できるよう努めています。

相原 実務を担うスタッフの方々に伝え

ていることなどはありますか？

古川 5W1Hを伝えています。常に！(When)・どこでも(Where)・自らが(Who)・考え行動する(What)・自分のために頑張る(Why)・家族や社員ひいては社会の皆が幸せになるため(How)。これを軸として今何をすべきかを各人が実行していければ最高です。

相原 明快ですね。その意識はきっと上質な仕事に繋がっていくと思います。今後の展開も非常に楽しみになりますね。

古川 循環型社会の実現が求められているなか、リサイクルの仕事がなくなることはありません。これからも三方よしの精神を重んじ、次世代を担う若者たちにリサイクルの大切さを伝えていながら、スタッフと共に頑張っていこうと思います。

Guest Comment

相原 勇 (タレント)

対談中、ずっと笑顔だったのがとても印象的でした。やりがい、達成感、そして時代が必要としているリサイクルという仕事に携わっていることに由来するものなのかもしれませんね。なぜ働くのか、どのように働くのかということを変えて考える機会を頂けたように思います。



▲(株)協同商店40周年祝賀会にて、(株)サイキョウメタル設立に尽力した3人の兄と共に【古川社長は後列中央】